

メイ政権は第一関門を突破

発表日：2017年6月30日(金)

～今後の議会運営は難航が避けられない～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

◇ 英女王陛下演説の議会採決は賛成多数で可決され、メイ首相が率いる保守党政権の公約が信任された。ただ、閣外協力と引き換えに北アイルランドへの歳出拡大を約束したほか、財政再建に向けた公約の修正に一部応じるなど、様々な譲歩を余儀なくされた。メイ政権の議会基盤は脆弱で、今後の離脱協議や財政運営を巡って、党内外の意見をまとめることが出来るかは余談を許さない。

29日に英下院で行われた女王陛下演説に対する採決（保守党政権のマニフェストに対する信任投票）は、賛成322対反対309の賛成多数で可決。投票否決による再選挙を回避した。賛成票を投じたのは、保守党の313議員、閣外協力を約束した民主統一党（DUP）の9議員、無所属の1議員（表）。他方、反対票を投じたのは、労働党の257議員、スコットランド人民党（SNP）の35議員、自由民主党（LibDem）の12議員、プライド・カムの4議員、緑の党の1議員だった。正副議長の計4名（保守党・労働党が各2名）、シン・フェイン党の7議員、賛成派・反対派の討論者（保守党・労働党が各2名）は投票しないため、保守党・DUP・労働党の各1議員が何らかの理由で投票しなかった。賛成票を投じた無所属議員は、北アイルランドの穏健派保守政党のアルスター統一党（UUP）が保守党と連携したことに反対し、UUPを離脱した議員。今後の議会運営で保守党政権への継続的な協力は期待できない。正副議長・討論者・シンフェイン党が投票しない場合を想定すると、与党が最大で期待できる票が324に対し、野党が最大で期待できる票は311。与党議員の13名以上が投票を欠席・棄権するか、与党議員の7名以上が造反するか、今後の補選で7議席以上を野党に奪われれば、与党は過半数を失うことになる。

保守党はDUPの閣外協力の見返りに、北アイルランドに対して総額10億ポンドの歳出増額を約束したほか、年金支給額の最低上昇率保証や高齢者に対する冬季暖房費補助金の見直す方針を撤回。さらに投票直前には、労働党議員が提案した妊娠中絶が禁止された北アイルランドの市民に対してイングランドでの中絶費用を政府が支払う修正法案に保守党議員の一部も賛同したことから、こうした修正を受け入れざるを得なかった。また、政権の命運を掛けた投票であったこともあり、メイ首相はドイツのメルケル首相との会談を切り上げ、ファロン国防相はブリュッセルで開かれたNATOの会合を切り上げ、ある保守党議員は義母の葬儀を欠席し、議会投票に駆けつけたと言う。他方、自由民主党などの野党勢が求めた英国がEUの単一市場や関税同盟にとどまることを求める修正法案は、賛成101対反対322で否決された。採決に参加した全ての与党議員が反対票を投じた一方で、投票棄権との党の方針に従わずに労働党の49議員が賛成票を投じた。労働党のコービン党首は賛成票を投じた4議員を「影の閣僚」から除名するなど、選挙戦での躍進後も労働党内は引き続き一枚岩ではない。今回の投票でメイ首相は政権発足という第一の関門を突破したが、投票に先駆けて様々な譲歩を余儀なくされた。この先、EU離脱や財政運営に関連した難しい討

議を控えるなか、党内外の意見をまとめ、議会を掌握することは困難を極めそうだ。

なお、3月の前倒し議会選後に政権発足が難航している北アイルランドでは、29日の期限までに英残留派のDUPとアイルランド再統一派のシン・フェイン党との間で政権発足での協議がまとまらなかった。英国政府は継続協議で多少の猶予を与えらるゝとしており、北アイルランド担当相が週明け7月3日に声明を発表することを示唆している。万が一、政権協議がまとまらなければ、英国政府による直轄統治が復活することになり、北アイルランド自治を巡ってDUPの閣外協力に亀裂が入らないかが不安視される。

(表) 英女王陛下演説に対する議会採決の結果

	投票者	討論者	副議長	無投票者	議員数
賛成票	323				
保守党	313	2	1	1	317
民主統一党 (DUP)	9			1	10
無所属	1				1
反対票	309				
労働党	257	2	2	1	262
スコットランド人民党 (SNP)	35				35
自由民主党 (LibDem)	12				12
プライド・カムリ	4				4
緑の党	1				1
投票しない	8				
シン・フェイン党	7				7
議長	1				1
総数					650

以上